

第1回中部地区推進員会合 議事録

平成29年7月14日（金） 16時開催

1. 昨年度の中部地区推進員全体の活動について

- ・太田市などの東部地区推進員は、視察や自主研修会を行っていたようであるが、中部地区推進員はなかなかまとまった活動ができずにいた。
- ・今年度は、中部地区推進員全体での活動や、情報共有を行うことを重視していきたい。

2. 各推進員の取組みと提案（要旨）

- ・食品ロス削減のため、まだ食べることのできる廃棄食品を必要な場所へと紹介、斡旋する事業を行っている。データ管理を活動へと活かしていければと思う。
- ・行政としては、講座開催に当たっての会場の提供、市政ラジオ番組や広報の活用、市内催事等の情報提供といった形でサポートを行いたい。
- ・地域のイベントを紹介しあい、ブース出展等を検討してはどうか。エコ工作や講座などは、休日の商業施設等で行うなど、開催場所や日時を工夫することで、啓発効果を高めることができる。
- ・市で毎年行っている環境イベントを、平日の市庁舎ではなく休日の商業施設で行うようにしたところ、来場者数が増加し、大きな啓発効果を得ることができた。
- ・食品トレイなどの資源の回収やゴミの分別の周知があまり成されていないと感じる。市民や事業者の力だけでは限界があるため、行政からも働きかけてほしい。
- ・児童への読み聞かせボランティアを行っているため、環境教育へと活かしていきたい。
- ・温暖化についての講義を開催したかったが、会場と参加者の確保が課題であった。講義内容においても、どのように構成を行うかで苦心している。

3. 総 括

中部地区推進員全体の活動において、市民、事業者、行政の立場を分けて考えるのではなく、お互いに働きかけることで、協働を行っていきたい。特に、場所の提供や情報の周知、伝達は、行政からも積極的に働きかけを行うべきである。

啓発活動を実施するのであれば、開催日時や場所が重要である。より啓発効果の高いものとなるよう、地域のイベントやお祭りなどの開催情報を共有し、ブース出展などを検討していきたい。

具体的な活動内容や方針については、次回の会合にて決定することとしたい。